

# 人工股関節全置換術を受けられる方へ

<予定入院期間 30日間>

1枚目/2枚中

日数	入院当日	手術前	手術後	手術後1日目	手術後2日目
治療・処置			数時間、酸素マスクをつけます。検温をこまめに行います。場合により自己血の輸血をします。心電図モニターをつけます	手術創に入っている管を抜きます。場合により自己血の輸血をします。手術の足は枕で拳上します。	医師が朝9時頃に創を診ます(抜糸まで毎日です)
薬・点滴	薬剤師が手術当日の点滴について説明に伺います。	朝9時頃から点滴を開始します。指示された内服薬があれば7時までに内服します。	水分補給のための点滴が続きます。抗生物質の点滴もあります。適宜鎮痛剤を使って痛みをコントロールします。	点滴は日中で終了になります。抗血栓薬が開始になります。	手術創や患部の痛みに応じて鎮痛剤の使用を検討いたしますので、痛みがあればお知らせください。
検査	血液検査があります		ベッド上でレントゲン撮影をします。血液検査のために採血をします。	血液検査のために採血をします。	
安静度	歩行は制限がありません。歩行器や車イスが必要な方はお申し出ください。		ベッド上で安静です。手術創に入っている管が抜けないう、寝返りは看護師がお手伝いします。	創の所に入っている管が抜けたら車イスに乗ることができます。看護師がお手伝いします。	痛みの状況を見ながら歩行器で歩きます。歩く時は看護師と一緒に歩きます。
食事	21時以降は食事はとれません。飴やガムも食べないで下さい。	食事は摂れません。水分制限がありますので、看護師の指示に従ってください。	食事は摂れません。麻酔から覚めたら水分を摂ることができますが、看護師の指示にしたがってください。	朝食から食事が摂れます。	
清潔	シャワーを浴びて体を清潔にします。場合により手伝います	一人でシャワー浴ができる方は起床後、浴びていただきます。9時までに手術着に着替えてください。		体を拭いて寝巻に着替えます。	1日おきに体を拭きます。シャンプーも適宜お手伝いいたします
排泄		手術室に行く前に、トイレを済ませます	尿の管が入ったまま病室に戻ります。	手術創に入っている管が抜けてから、車イスでトイレに行けます。尿の管は状況を見て抜きます。	看護師の付き添いでトイレに行けます
説明	看護師より入院生活・手術の流れについて説明が、麻酔科医師・手術室看護師より説明があります。		主治医より手術の結果等の説明があります。	脱臼する可能性がありますので、手術後は足を組んだり、内股、床の物を拾わないでください。	
その他	リハビリ室でリハビリをします。	医師が手術する足に間違いのないように印をつけます。入れ歯、コンタクトレンズ、アクセサリーなどは必ず外して下さい。手術室に行く前に、圧迫靴下を履きます。	脱臼予防のため、足の間に枕を挟みます。(入院期間中は継続します)	圧迫靴下を入院期間中は履いていただきます	リハビリをベッド上で再開します

# 人工股関節全置換術を受けられる方へ

<予定入院期間 30日間>

2枚目/2枚中

日数	手術後3～7日目	手術後8～14日目	手術後15～21日目	手術後22～28日目(退院日)	
治療・処置	医師が朝9時頃に創を診ます (抜糸まで毎日です) 足の枕は4日目を外します	抜糸は手術後14日目頃、 回診時に行います。 			
薬・点滴	創や足の痛みに応じて鎮痛剤を検討いたします。 貧血の薬が処方される場合があります				
検査		手術後21日目に血液検査とレントゲンがあります。 			
安静度	歩行状況により、一人で歩行器で歩けます 		看護師の付き添いで杖で歩けます。 	一人で杖で歩けます。 (個人差はあります) 	
食事					
清潔	医師の許可が得られれば、シャワー浴ができるようになります。初回は看護師がお手伝いします。	一人でシャワー浴が行えます。 			
排泄	日中は歩行状況に応じて一人でトイレに行けます。夜間は看護師が付き添います。	夜間も一人でトイレに行けます。 			
説明			主治医より退院についての説明があります。 看護師より退院後の注意点に関する説明があります		
その他	状況に応じてリハビリ室でのリハビリとなります。	歩行器でリハビリ室まで行きリハビリとなります。	包括ケア病棟へ移動し、退院に向けてリハビリや準備を進めていきます		

内容に変更がある場合は、その都度ご説明いたします。